

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう西条		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成・共有・実施が非常に丁寧で、保護者評価も極めて高い。アセスメントを踏まえ、具体的な支援内容を設定し、計画に沿った支援が実践されている。	PDCAサイクルが機能しており、夕礼での振り返りや引継ぎノート活用など、職員全体で業務改善に取り組む体制が整っている。	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）は十分ではなく、今後の重点強化項目である。
2	保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「支援に満足している」との評価が多数ある。特に安心感・満足度項目は満点に近い水準である。	活動プログラムはチームで立案し、子どものリクエストも取り入れながら固定化を防いでいる。	保護者会や家族同士の交流機会を増やし、家庭支援機能を拡充する必要がある。
3	PDCAサイクルが機能しており、夕礼での振り返りや引継ぎノート活用など、職員全体で業務改善に取り組む体制が整っている。	ヒヤリハット共有やマニュアル整備、定期的な避難訓練を実施し、安全管理を徹底している。	地域交流や児童館との交流機会を増やし、地域支援の視点をさらに強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースについて「もう少し広い方が良い」との保護者意見がある。	施設規模の制約があり、利用人数によってはスペースが手狭に感じられる場合がある。	人数分散や部屋活用の工夫を継続し、活動スペース確保を強化する。
2	家族支援・保護者交流の機会が限定的である。	家族支援は日常相談対応は行っているが、体系化されたプログラムが未整備である。	定期的な家族会や参加型イベントを企画し、家庭支援を拡充する。
3	地域の他児との交流機会が十分とは言えない。	地域交流は実施しているものの、定期的・計画的な取り組みには至っていない。	地域イベント参加や他事業所との交流会を計画的に実施し、地域連携を深める。